

都市再生整備計画(第11回変更)

と や の が た な ん ぶ か い は つ ち く
鳥屋野潟南部開発地区

新潟県 新潟市

平成22年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	新潟県	市町村名	新潟市	地区名	鳥屋野潟南部開発地区	面積	260 ha
計画期間	平成	17	年度	～	平成	21	年度
					交付期間	平成	17
						平成	21
						年度	年度

目標

- 新たな機能と地区の資源を活用し都市の拠点性を向上させる
 - ・新市民病院開院に合わせた「医療福祉機能」の導入
 - ・外来者・市民交流のための「交流機能」の導入
 - ・水・緑豊かな自然を活かした「新潟らしい都市景観」の創造
 - ・アクセスが良く歩行者・高齢者にやさしい「交通体系」の確立

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・新潟市内において豊かな自然を残す「鳥屋野潟」に隣接するとともに、高速交通網の結節点という立地条件を活かし、環日本海地域の拠点にふさわしい環境の優れたアメニティ空間の創出、新しい都市機能の導入を行うもので、民間活力の導入を図りながら、新潟県・新潟市・亀田郷土地改良区の三者で「鳥屋野潟南部開発計画」として、平成元年より整備を推進している。
- ・現在(地区外)の「新潟市民病院」は、敷地面積が狭隘(約3.7ha)なことから、高度医療等に対応した老朽施設(昭和48年開院)の更新ができず、また駐車場(804台)の不足等により周辺道路に恒常的な渋滞を引き起こしており、これらを解決するため、本地区内に移転し、平成19年秋の開院を目指している。(平成19年11月開院:敷地面積約8ha、駐車場1600台)
- ・地区内には、「新潟市天寿園」等、立地済みの交流施設(6施設)に加え、平成2年度から整備中の「新潟県スポーツ公園」では、国民体育大会(平成21年開催予定)に向け、「県立野球場」が建設予定であるが、周辺道路の整備水準が低く(付加車線・歩道の未整備・幅員狭隘等)、施設利用者の交通に対応できない。(県立野球場:平成21年6月竣工)
- ・病院開院時に必要な調剤薬局等の医療福祉関連施設や交流施設を補完する飲食・物販等の利便施設の用地がなく、多様なニーズに対応できないため、民有地(現況農地、約11.5ha)では、計画的なまちづくりの検討を目的に平成14年10月「地権者勉強会」を組織した。
- ・その後、平成16年3月の「土地区画整理組合設立準備委員会」の設立により事業化の検討や関係機関協議を行った後、平成18年11月に「土地区画整理組合」が設立された。(約10.8ha)
- ・「清五郎集落」は、農村の貴重な住環境空間として本地区の歴史を今に伝えるが、周辺において都市的な土地利用が行われる中、将来に渡る住環境の保全・都市と農村の共存を図るまちづくりのあり方が確立されていない。

課題

- ・「新潟市民病院」は、本地区への移転により、高度医療への対応、来院者交通の円滑化(移転前の病院周辺最大渋滞長L=600[m])など「医療福祉機能」の充実が期待されているが、移転地周辺(地区内)は、道路等の都市基盤整備が不十分であり、また調剤薬局等の医療福祉関連施設の用地が整っていないことが課題となっている。
- ・市民病院移転地(地区内)に隣接して、分かりにくく、危険性が指摘されている変則的な交差点が存在するが、来院交通に対応した改善が行われていないことが課題となっている。
- ・本地区と周辺地区が高速道路などによって分断されており、円滑な往来ができなことが課題となっている。
- ・「鳥屋野潟公園(利用者数134[万人/年])」や「新潟スタジアム(ビッグスワン)(来場者数約4[万人/試合])」等の交流施設に広域からの施設利用者があるが、補完する利便施設がないことや水・緑豊かな本地区の自然環境が活かされていないことから連続性・回遊性を持たせた「交流機能」や「新潟らしい都市景観」に欠けていることが課題となっている。
- ・「新潟市民病院」、「県立野球場」の周辺道路の整備水準が低く、特に「新潟スタジアム(ビッグスワン)」等でのイベント時に深刻な交通渋滞(イベント後自家用車の本地区退出完了時間100[分/イベント])が発生し、またユニバーサルデザインに対応した歩行者動線が確保されていないことから、アクセスが良く歩行者・高齢者にやさしい「交通体系」が確立されていないことが課題となっている。

将来ビジョン(中長期)

[新潟市第四次総合計画](都市拠点としての市街地の整備)

- ・環日本海の中核拠点都市の創造に向けて、本市が担うべき新しい高次都市機能などの集積を進め、将来の土地利用を誘導する都市拠点の形成を図る。鳥屋野潟南部開発計画の推進を図る。

[新潟市都市計画基本方針](自然と調和した多様な機能をもつ拠点の形成)

- ・水と緑の環境に恵まれ、高速交通網の結節点に位置する鳥屋野潟周辺地区は、自然環境と調和したアメニティ空間やスポーツ、レクリエーション、国際文化・教育など多様な機能をもつ拠点の形成を図る。

[鳥屋野潟南部開発計画]

- ・新潟市内において豊かな自然を残す鳥屋野潟に隣接するとともに、高速交通網の結節点に位置する鳥屋野潟南部地区約270haにおいて、環日本海地域の拠点にふさわしい環境の優れたアメニティ空間の創出、新しい都市機能の導入を行うもので、民間活力の導入を図りながら、県・市・亀田郷土地改良区の三者で整備を推進する。

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
					基準年度	目標年度
市民病院駐車場入庫待ち渋滞長	m	移転前後の市民病院駐車場入庫待ち車両の最大渋滞長	病院周辺道路の整備改善による医療福祉環境の向上を示す指数	600	平成16年度	0 平成21年度
鳥屋野潟公園利用者数	万人/年	鳥屋野潟公園(鐘木地区・新潟スタジアムを除くスポーツ公園)年間利用者数	回遊性があり安全・快適な歩行者ネットワークの整備による、病院・その他施設利用者の鳥屋野潟公園へのアクセス性向上を示す指数	134	平成16年度	150 平成21年度
イベント後自家用車の本地区退出完了時間	分/イベント	新潟スタジアム等でのイベント終了後、全ての自家用車が鳥屋野潟南部開発地区を出るまでの所要時間	交通網の整備改善効果を示す指標	100	平成16年度	60 平成21年度
市民病院の関連・利便施設	施設	市民病院開院時に必要な調剤薬局等の医療福祉関連施設	市民病院の関連・利便施設の設置による医療福祉環境の向上を	0	平成16年度	20 平成21年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・新市民病院開院に合わせた周辺のアクセス道路を整備し、周辺公共施設の整備改善による「医療福祉機能」の向上を図る。</p>	<p>・新潟市道 南7-74号線(基幹事業) ・新潟市道 南7-221号線(基幹事業) ・新潟市道 南7-99号線(基幹事業) ・新潟市道 南7-368号線(基幹事業) ・新潟市道南7-366号線(基幹事業) ・新潟市道南7-365号線(基幹事業) ・新潟市道南7-370号線(基幹事業)</p>
<p>・豊かな自然と既存・計画の集客施設を活用すると共に、各施設を有機的に結び自動車・歩行者交通網を整備し、鳥屋野潟南部開発地区の「交流機能」の充実を図る。</p>	<p>・新潟市道 南7-74号線(基幹事業) ・新潟市道 南7-221号線(基幹事業) ・新潟市道 南7-99号線(基幹事業) ・新潟市道 南7-368号線(基幹事業) ・新潟市道南7-366号線(基幹事業) ・新潟市道南7-364号線(基幹事業) ・新潟市道南7-370号線(基幹事業) ・都市計画道路 鳥屋野潟南部中央線(基幹事業) ・都市計画道路 鳥屋野潟南部東西線(基幹事業) ・新潟市天寿園(基幹事業) ・清五郎地区まちづくり推進検討会(提案事業)</p>
<p>・水・緑豊かな自然環境と調和し、景観に考慮した公共施設整備により「新潟らしい都市景観」を創造する。</p>	<p>・新潟市道 南7-74号線(基幹事業) ・新潟市道 南7-221号線(基幹事業) ・新潟市道 南7-99号線(基幹事業) ・新潟市道南7-366号線(基幹事業) ・都市計画道路 鳥屋野潟南部中央線(基幹事業) ・都市計画道路 鳥屋野潟南部東西線(基幹事業) ・新潟市天寿園(基幹事業) ・清五郎地区まちづくり推進検討会(提案事業)</p>
<p>・現況の新潟スタジアム等のイベント時の交通渋滞の解消及びH21新潟国体(県立野球場建設予定)等将来交通需要に対応し、地域の健全な発展と円滑な交通処理を図る「交通体系」を確立する。 ・適切な歩車道の分離や散策路の整備など、バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮し、歩行者・高齢者が安全かつ快適に移動できる歩行者ネットワークを備えた「交通体系」を確立する。</p>	<p>・都市計画道路 鳥屋野潟南部中央線(基幹事業) ・都市計画道路 鳥屋野潟南部東西線(基幹事業) ・新潟市道 南7-74号線(基幹事業) ・新潟市道 南7-221号線(基幹事業) ・新潟市道 南7-99号線(基幹事業) ・新潟市道 南7-368号線(基幹事業) ・新潟市道南7-366号線(基幹事業) ・新潟市道南7-364号線(基幹事業) ・新潟市道南7-365号線(基幹事業) ・都市計画道路 鳥屋野潟南部中央線(基幹事業) ・都市計画道路 鳥屋野潟南部東西線(基幹事業)</p>
<p>その他</p>	
<p>■「南西部まちづくりワークショップ」 市民病院の周辺のまちづくりについて検討するため、平成16年5月、組合設立準備委員を主体に組織。 ○構成員 ・メインメンバー(組合設立準備委員、地権者、亀田郷土地改良区、新潟市) ・まちづくりアドバイザー(出店予定企業者、学識経験者、建築家、実践経験者、アート関連、商業コンサルタント、新潟県、市民病院) ・事務局(都市計画コンサルタント、業務アドバイザー) ○主な提言内容 1. 豊かな自然と調和し、魅力と統一性のある都市景観形成 2. 永続的なまちづくりを目指し利便性の高い施設計画 ・市道南7-74号線の大塚排水路埋立による上部遊歩道整備、森のトンネル整備 ・ベンチ・植栽・高質舗装・電線地中化等潤い溢れる歩道整備 ・各施設をバリアフリーでつなぎ、施設の一体性・回遊性を高めるベデストリアンデッキ・エレベーター整備 ・民有地開発地内の商業ゾーンに鳥屋野潟公園との一体性を高め、交流の場となる広場的施設を整備</p> <p>■「鳥屋野潟南部開発計画」 平成元年から、新潟県・新潟市・亀田郷土地改良区の3者で整備を推進中。</p> <p>■「総合レクリエーションゾーン基盤整備の検討会」 市民病院周辺の基盤整備等について新潟市の関係課で横断的な検討を行うため、関係13課により組織。 ○主な検討内容 1. 民有地開発に係る方針検討 ・開発手法の在り方(土地区画整理事業) ・法手続きの進め方(市街化区域編入等) 2. 都市基盤の整備計画立案 ・道路・供給処理施設等の都市基盤整備の在り方(病院周辺の交通処理) ・景観整備の在り方(大塚排水路及病院裏側自赤道の緑道整備等)</p>	<p>■「鳥屋野潟南部開発地域周辺交通計画検討会」 鳥屋野潟南部開発地域のイベント時における交通の円滑化と通常時の利便性を図るためのハード・ソフト両面からの施策を調査検討するため、平成15年度、学識経験者、バス事業者、交通管理者、行政(国交省、新潟県、新潟市)等により組織。</p> <p>○主な提言内容 1. 自動車交通の円滑化 ・鳥屋野潟南部東西線・鳥屋野潟南部中央線の整備(県立野球場周辺) ・立体横断施設などの整備 2. 公共交通の利便性確保 ・バス専用又はバス優先レーンの設置、バス優先信号の導入、公共車両優先システム(PTPS)の導入 3. 歩行者・自転車空間ネットワーク化 4. 環境の保全(生活環境・自然環境) ・パークアンドバスライドなどによる交通転換の推進(交通円滑化及び交通転換による環境負荷の低減) 5. 市民病院へのアクセス利便性確保 ・路線バスの利便性確保(運行頻度、優先通行) ・イベント交通との分離 6. まちづくりとの連携による長期的な施策 ・鳥屋野潟南部地区にふさわしい魅力的な土地利用の計画的推進 ・公共交通や交通ターミナルなど交通施策と一体となった、計画的・効果的な都市開発 7. 社会実験 ・公共公益施設駐車場を活用したパークアンドバスライド ・市内臨時バス運行 ・既存シャトルバスに対するバス優先信号・公共車両優先システム(PTPS)の導入 ・予約制によるツアーバス運行</p>

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	3,277	交付限度額	1,310	国費率	0.4
---------	-------	-------	-------	-----	-----

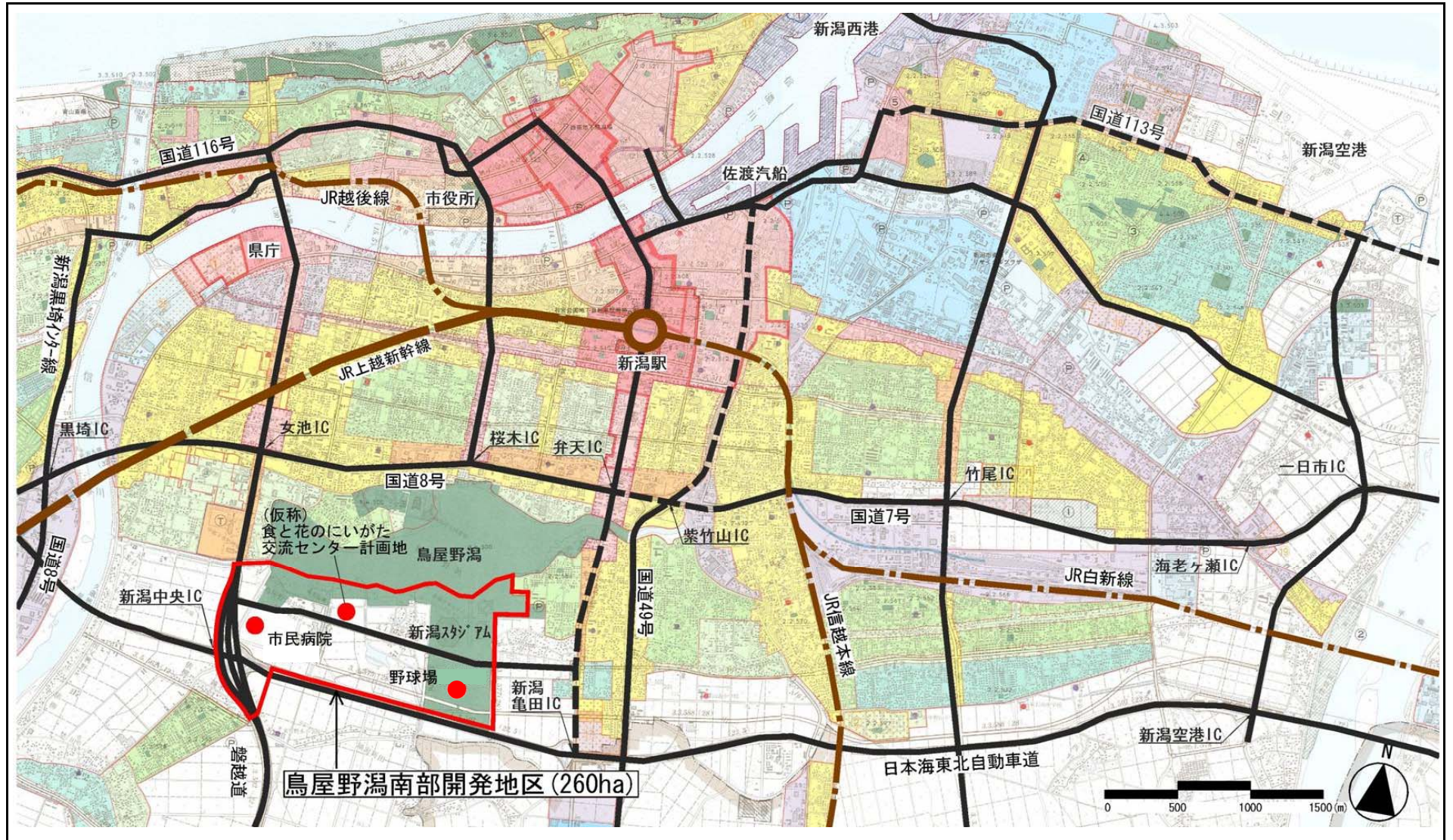
(金額の単位は百万円)

事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	
細項目	開始年度					終了年度	開始年度	終了年度	うち官負担分		うち民負担分			
道路	地方道	新潟市道南7-74号線	新潟市	直	L=712m	平成18年度	平成21年度	平成18年度	平成21年度	383	383	383	383	
	地方道	新潟市道南7-221号線	新潟市	直	L=480m	平成17年度	平成20年度	平成17年度	平成21年度	195	195	195	195	
	地方道	新潟市道南7-99号線	新潟市	直	L=126m	平成20年度	平成20年度	平成18年度	平成20年度	12	12	12	12	
	地方道	新潟市道南7-368号線	新潟市	直	L=461m	平成20年度	平成21年度	平成20年度	平成21年度	52	52	52	52	
	地方道	新潟市道南7-366号線	新潟市	直	L=327m	平成19年度	平成21年度	平成19年度	平成21年度	100	100	100	100	
	地方道	新潟市道南7-364号線	新潟市	直	L=204m	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	98	98	98	98	
	地方道	新潟市道南7-365号線	新潟市	直	L= 73m	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	44	44	44	44	
	地方道	新潟市道南7-370号線	新潟市	直	L= 37m	平成20年度	平成21年度	平成20年度	平成21年度	10	10	10	10	
	街路	鳥屋野潟南部中央線	新潟市	直	L=510m	平成17年度	平成21年度	平成17年度	平成21年度	819	819	819	819	
	街路	鳥屋野潟南部東西線	新潟市	直	L=620m	平成17年度	平成21年度	平成17年度	平成21年度	1,288	1,288	1,288	1,288	
公園														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム		-			-									
地域生活基盤施設		新潟市天寿園	新潟市	直	情報案内板8基	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	31	31	31	31	
高質空間形成施設		新潟市天寿園	新潟市	直	植栽一式	平成17年度	平成19年度	平成17年度	平成19年度	3	3	3	3	
高次都市施設														
既存建造物活用事業		新潟市天寿園	新潟市	直	A=20,000㎡	平成17年度	平成21年度	平成17年度	平成21年度	241	241	241	241	
都市再生交通拠点整備事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
人にやさしいまちづくり事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										3,276	3,276	3,276	0	3,276
提案事業														
事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	
細項目	開始年度					終了年度	開始年度	終了年度	うち官負担分		うち民負担分			
地域創造支援事業													0	
事業活用調査		-			-								0	
まちづくり活動推進事業	清五郎地区まちづくり推進検討会	清五郎地区	新潟市	直	年4回程度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	1	1	1	1	
合計										1	1	1	0	1
												合計(A+B)	3,277	

(参考)関連事業					(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
新潟市民病院	新潟市民病院建設地	新潟市	厚生労働省	30科660床			○		平成15年度	平成19年度	28,900
(仮称)食と花のいいがた交流センター	(仮称)食と花のいいがた交流センター計画地	新潟市	農林水産省	7.4ha			○		平成13年度	平成24年度	6,800
総合スポーツゾーン(新潟県立野球場)	総合スポーツゾーン	新潟県	国土交通省	3万人		○			平成15年度	平成21年度	9,105

都市再生整備計画の区域

鳥屋野潟南部開発地区(新潟県新潟市)	面積 260 ha	区域 太右工門新田、鐘木、久蔵興野、俵柳、清五郎、鍋湯新田、長潟の各一部
--------------------	--------------	---



鳥屋野潟南部開発地区（新潟県新潟市）整備方針概要図

目的	<ul style="list-style-type: none"> ○新たな機能と地区の資源を活用し都市の拠点性を向上させる ・新市民病院開院に合わせた「医療福祉機能」の導入 ・外来者・市民交流のための「交流機能」の導入 ・水・緑豊かな自然を活かした「新潟らしい都市景観」の創造 ・7ヶ所が良く歩行者・高齢者にやさしい「交通体系」の確立 	代表的な指標	市民病院駐車場入庫待ち渋滞長	600m	(平成16年度) → 0m	(平成21年度)
			鳥屋野潟公園利用者数	134万人/年	(平成16年度) → 150万人/年	(平成21年度)
			イベント後自家用車の本地区退出完了時間	100分/イベント	(平成16年度) → 60分/イベント	(平成21年度)

